



広報

しんち

新地町民憲章

1. ふるさとの海と山を愛し、美しい町をつくります。
1. 互いに助け合い、心の豊かな町をつくります。
1. 健康でしごとにはげみ、希望に満ちた町をつくります。
1. としよりを敬いこどもを愛し、明るい町をつくります。
1. 郷土の歴史を大事にし教養を高め、文化の町をつくります。

245号

3/11

資源保護のため再生紙を使用しています。



結成10周年記念演奏会 お母さんコーラス発表会

ハーモニー すそ野広がる

魅力ある商店に向けて 共同化に動く地域商業

昨年五月に大規模小売店舗法(大店法)の運用が緩和され、相馬地方でも大型店の進出が目立って来ましたが、
来月一月には改正大店法が施行されることから大型店の進出に更に拍車がかかり、中小小売店の経営が圧迫される事が予想されます。
そんな厳しい情勢の中で、今町の商店はどう対応して行くのかを特集しました。

中小商業活性化事業を取組む

町商工会では、昨年県の「中小小売業活性化事業」の指定を受けて「魅力ある新地町の小売商業活性化へ向けて」と題する報告書をまとめました。

これは大店法の運用が緩和され、大型店の郊外出店などに弾みがついた状況の中で、核となる店舗を設置し、新しい商店街の創造による活性化ビジョンをつくらうというもので、町商工会、町、県原町商工労働事務所等が一体となって「町中小商業活性化推進委員会」を組織し検討してきたものです。

他市に流れる消費

町の商店の現状は、一店当たりの年間販売額は、昭和六十年から昭和六十三年の間に一・二八倍の伸びを示しています。しかし、この販売額は、相馬地区平均のわずか五五%でしかなく、購買力の多くが相馬市や仙台市など近隣都市に流出しています。

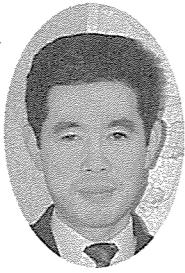
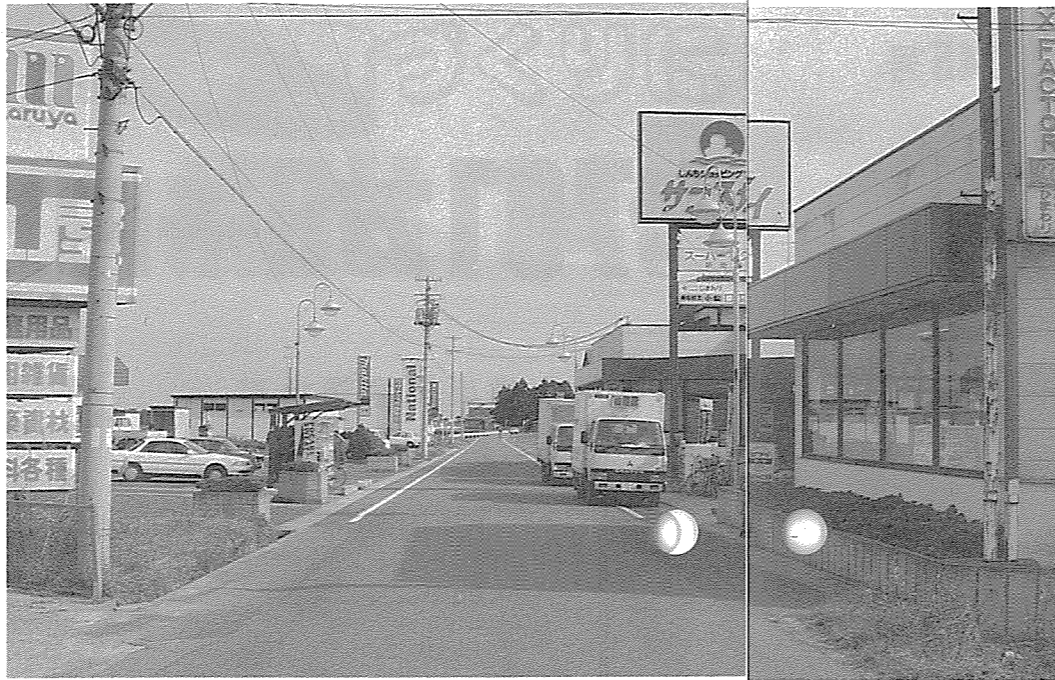
この原因は、町の商店が四地区(新地、福田、駒ヶ嶺、釣師)に分散し、まとまった商店街がないのに加え、車社会の進展、消費者ニーズの多様化などに対応することができなかつたことによるものです。

消費者ニーズに

対応した街づくりを

報告書では、時代にマッチした個性ある商店街の整備が必要としています。

「消費者ニーズに対応した商品の仕入れ、店舗の近代化などサービスの改善を図り、地域に密着した商店経営の育成を



桜井正孝さん
(共同化事業研究会会長)

共同店舗実現 に向けて

共同店舗の勉強会を始めて四年になります。三十〜四十歳の若手商業人男女合わせて八人が参加をしています。貿易摩擦の解消、大店法が

規制緩和される中で、共同店舗は中小小売店が生き残るための数少ない有力な手段と考えています。平成二年度に主婦や独身者を対象に行った商店街に対する要望アンケート調査でも、「駐車場」「小公園」「共同店舗」がベスト3を占めています。

私たちが共同店舗を目指していますが、共同店舗を作つてそこで物を売ろうというだけでなく、商店街の集積化を図り、情報の発信機能を持つユニークな街づくりを考えたいと思っています。(談)

法人化などを指導

そこで、浮上してきたのが共同店舗で、町商工会では、県や町の指導を受けながら共同店舗の母体となる法人化に向けて重点的に取り組もうとしています。

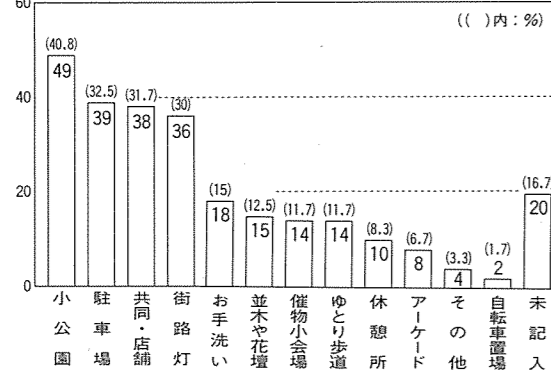
法人化されると事業費の半額が国県から補助される商業基盤施設整備事業や、残る半額の八割まで無利子で借りられる高度化資金など有利な制度を活用できます。

車場・街路等の整備が必要」としてしています。

また、共通する問題点を持つ商店街を対象にした研修会やイベントなどのソフト面での指導・支援事業が活用できます。

そのため、町商工会では、共同店舗を検討する「共同化事業研究会」を組織し、勉強会を行っています。今、町商工会は町民や消費者に愛される街づくりを目指し動き出しています。

●町内主婦の施設要望 (平成2年アンケート調査 解答者数120人、複数解答合計267)



●町の商業 (商業統計)

年次	商		店						数
	計	個人	1~2人	3~4人	5~9人	10~19人	20~29人	30人以上	
昭和60年	102	—	76	15	8	1	2	—	
昭和63年	95	12	83	64	22	5	2	1	
卸売業	9	4	5	3	2	3	—	1	
小売業	86	8	78	61	20	2	—	1	



共同化事業研究会の皆さん



青木咲代さん
(小川・主婦)

●ひとこと
車社会ですから、駐車場がないとどうしても足が遠のいてしまいます。日用品などは新地町の店で買うようにしていますが、結局駐車場があるかないかですね。それと店内が暗いとなるとなく入りにくい感じがします。子供が小さいのでそばに公園があることも重要だと思っています。
新地町も相馬地域開発が進み人口一万三千人を目指して頑張っているのです。魅力的な商店街通りが出来たら町も活性化していくと思います。(談)

平成2年度一般・特別会計の決算

(単位:千円)

	歳入	歳出	差引
一般会計	3,578,546	3,477,019	101,527
国民健康保険特別会計	649,670	497,078	152,592
老人保健特別会計	471,752	464,655	7,097
総合計	4,699,968	4,438,752	261,216

平成2年度水道事業会計の決算

①収益的収支

収入 1億59,885千円
 支出 1億25,322千円

②資本的収支

資本的収入額が、資本的支出額に対し不足する額41,110,395円は、当年度分消費税資本的収支調整額1,238,631円、過年度分損益勘定留保資金22,484,915円、建設改良積立金10,500,000円及び当年度分損益勘定留保資金6,886,849円で補てんしました。

町の財産のあらまし

(平成3年3月31日現在)

土地	1,714,025㎡
建物	25,712㎡
山林	1,291,261㎡
出資による権利	941万円
基金	6億4,782万円

町債のあらまし

(平成3年5月31日現在)

町では、12億8,487万円のお金を借りています。内訳は次のとおりですが、町民1人当りに換算すると143,786円となります。(千円)

事業名	現在高
一般公共事業債	34,124
一般単独事業債	4億16,694
公営住宅建設事業債	33,428
義務教育施設整備事業債	1億13,971
辺地対策事業債	6,530
災害復旧事業債	29,039
厚生福祉事業債	1億35,787
財源対策債	79,692
臨時財政特例債	9,171
調整債	1億39,311
福島県市町村振興基金	2億40,623
特定資金公共事業債	46,500
合計	12億84,870

町の会計でも、健全な財政運営をしているかどうかの指標となるのが、経常収支比率です。この経常収支比率は七二・八％(七五％以下は安全ゾーン)と安全圏にあるものの、前年度より

一・五ポイント上昇しています。また、公債費比率は八％で前年度より二・五ポイント下がり、わずかながら財政の改善が図られました。町では、こうした決算の状況を踏まえ「心やすらぐ快適な田園都市」建設のために平成三年度も健全な財政運営を進めます。

町税の負担と町民サービス

町民の皆さんからお預りした町税は、

1人当り 5万4,847円
 1世帯当り 23万1,514円

となつています。

さらに、町税の内訳を1人当りで見ると

町民税 2万2,638円
 固定資産税 2万7,988円
 町たばこ税 3,052円
 軽自動車税 1,155円
 特別土地保有税 14円

町民サービスには、

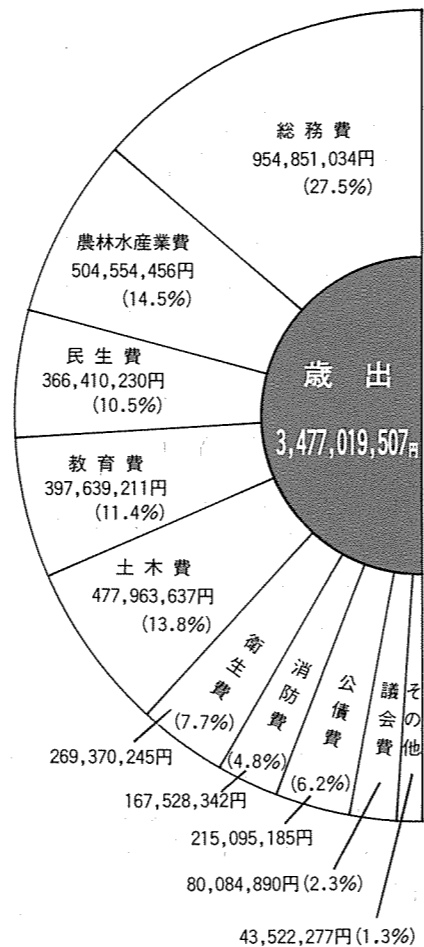
1人当り 38万9,102円
 1世帯当り164万2,428円

が使われました。

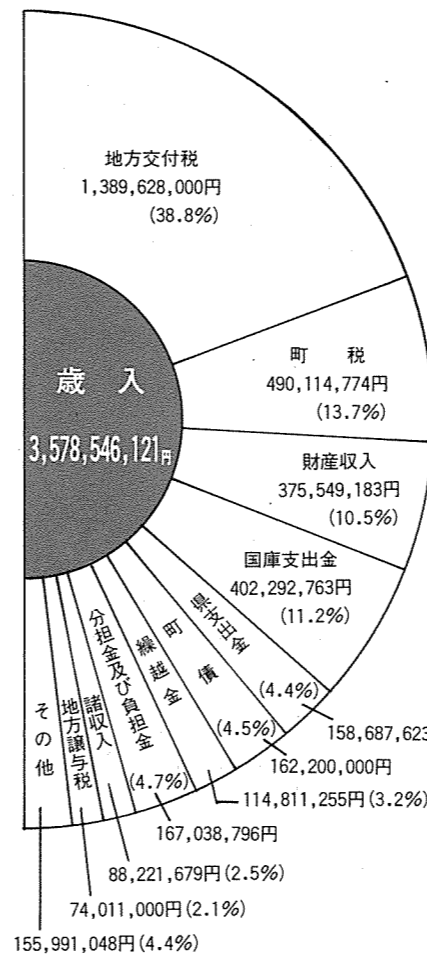
豊かな町づくりに

歳出 34億7,701万9千円

平成2年度一般会計



歳入歳出決算額



平成2年度決算特集

平成2年度の一般会計、特別会計の決算が、9月定例議会で認定されました。

これは皆さんの家計に密接なつながりをもつ新地町の家計簿です。そこで今回は、皆さんから納めていただいた税金や国・県からの補助金などが、いくらかは、どう使われたのかをみてみましょう。

一億五千二百七十七千円の黒字決算

町の台所は決して裕福ではありませんが、平成2年度も限られたお金を有効に使い、いろいろな事業を行ってきました。平成2年度の一般会計決算は、歳入(収入)が三十五億七千八百五十四万六千円、歳出(支出)三十四億七千七百一十九万九千円となり差し引き、一億五千二百七十七千円の黒字決算になりました。

こうした町の予算や決算は金額が大きすぎて、とてもわかりにくいと思います。そこで

町民一人当りのサービス内容、町税負担、町債や財産のあらまは、グラフなどで記しました。

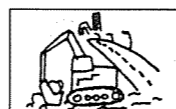
町民一人あたりのサービスの内訳

389,102円

〔一般会計歳出決算額/平成2年度人口 8,936人〕



総務費 106,854円



農林水産費 56,463円



教育費 44,499円



民生費 41,004円



農林水産費 56,463円



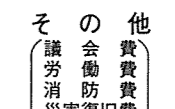
公債費 24,071円



衛生費 30,144円



商工費 3,335円



その他 29,245円

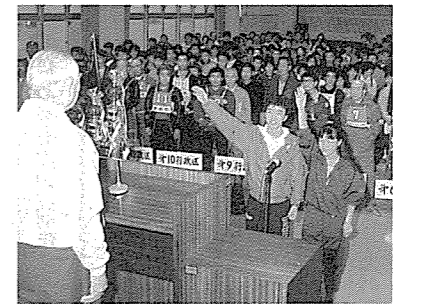


雨の中をつぎつぎゴールする選手たち

熱戦の結果は、十二行政区が八行政区にわずか19秒差で優勝し、晴れのトロフィーを獲得しました。
閉会式も多くの町民がつけかけ、選手たちをねぎらい最後まで盛り上がった大会でした。
あの感動をもう一度、写真で味わってください。



加藤哲蔵大会会長あいさつ



「最後まで全力を尽す」と力強く選手宣誓

町制施行体協設立 20周年記念新地町一周 駅伝競走大会

雨中を駆け抜けた42.195キロ



孫の力走におばあさんも感激

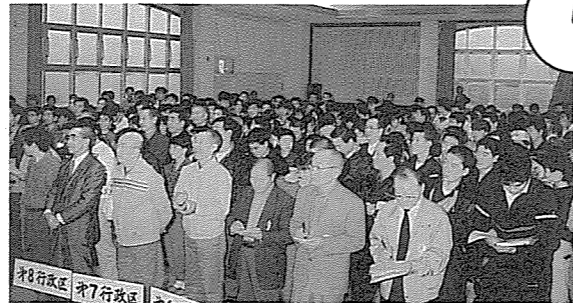
新地町一周駅伝の成績

総 合

- 1位 第12行政区 2時間45分50秒
- 2位 第8行政区 2時間46分9秒
- 3位 第9行政区 2時間50分30秒
- 4位 第6行政区 2時間50分32秒
- 5位 第5行政区 2時間54分12秒
- 6位 第14行政区 2時間58分57秒

区 間 賞

- 1区(中学男子・5キロ) 吉田 貴生(第14) 17分35秒
- 2区(小学男子・1.5キロ) 川勝 昭広(第11) 4分38秒
- 3区(壮年男子・2.1キロ) 星 薫(第12) 5分39秒
- 4区(一般男子・6.3キロ) 竹沢 浩(第12) 22分25秒
- 5区(中学女子・2.7キロ) 櫻井麻梨子(第3) 10分32秒
- 6区(一般男子・4.4キロ) 加藤 清幸(第6) 15分21秒
- 7区(一般男子・6.9キロ) 佐藤 武伸(第9) 25分29秒
- 8区(中学男子・3.5キロ) 後藤 正博(第10) 14分22秒
- 9区(一般女子・1.6キロ) 八巻 悦子(第12) 5分14秒
- 10区(一般男子・4.7キロ) 小泉 憲章(第9) 18分43秒
- 11区(小学女子・1.2キロ) 目黒裕里子(第9) 4分24秒
- 12区(中学女子・2.3キロ) 加藤 洋子(第6) 10分16秒



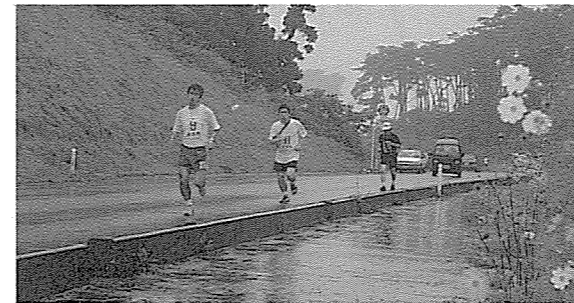
メモを手に真剣に成績発表を聞く町民の皆さん



区間賞の表彰式



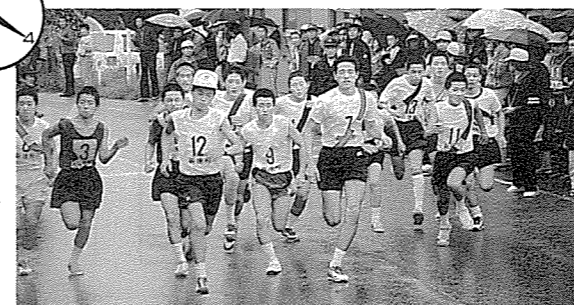
優勝おめでとう！12行政区の皆さん



コスモスがゆれるロードを力走する選手たち



激 走



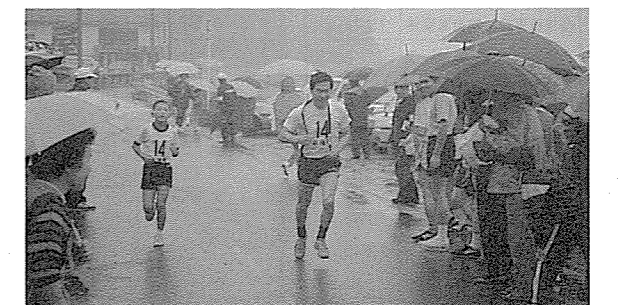
杉目でいっせいスタート！



緊張の中、農村環境改善センターをスタート！



2区(漁協前)小学生男子へたすきをつなぐ



沿道では大勢の町民が声援を送った

血推 小賀坂さんへ

日赤銀色有功章

町献血推進協議会が十月十六日、農村環境改善センターで開かれ、優良献血者に感謝状を贈りました。

協議会に先立ち表彰が行われ、加藤哲蔵助役が三十回目の献血を達成した小賀坂正廣さん(中里)に日赤から銀色有功章を伝達。さらに十回から六十回以上の優良献血者五十二人に感謝状を贈りました。

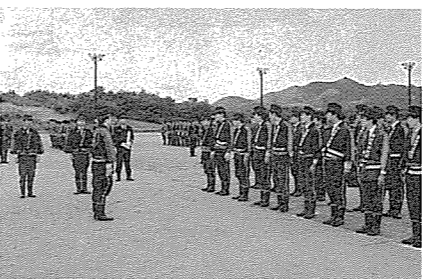


銀色有功章の伝達を受ける小賀坂さん

防火の誓い新た

消防団秋季検閲

新地町消防団の秋季検閲式が、十月二十日、町民グラウンドで開かれ、防火の誓いを新たにしました。



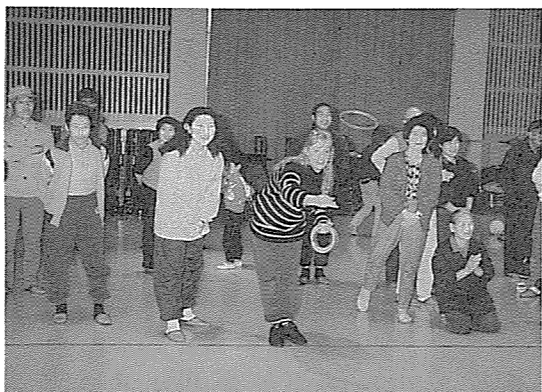
キビキビと特別訓練を行う消防団員

●寺島孝幸、阿部孝弘、荒勝彦(尚英中一年)「船舶火災初期消火」

- ▽県消防協会相馬支部長表彰(優良消防団員)
・角田正悦(菅谷)
・秋元嘉夫(上ノ町)
・菅野勝美(今神)
・水戸俊一(新地町)
・佐々木幸清(小川)
・渡辺功正(沢口)
・岡崎仁一(埴浜)

納税貯蓄組合表彰

多年の功績を祝し、多年の功績をたたえて、次の二名の方が納税貯蓄組合表彰を受賞されました。
▽全国納税貯蓄組合連合会会長表彰 加藤清美(新地町)
▽福島県納税貯蓄組合連合会会長表彰 寺島吉光(大戸浜)



外国人といっしょに輪投げ

国際自然の中を歩こう大会

在住外国人と楽しく交流

高田部落出身で埼玉県大宮市在住の画家・星茂さん(九十七歳)が、このたび役場を訪れ、自作「神鹿」(40号)を町に贈りました。

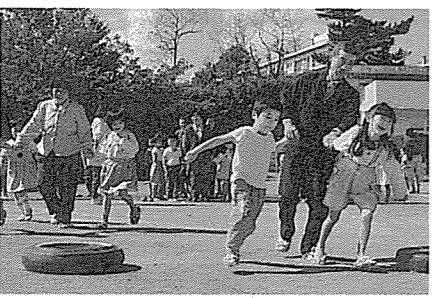
ふくしま国際交流月間の十月十三日、「国際交流自然の中を歩こう大会」が、農村環境改善センターで開催されました。晴天なら町内の史跡や海岸線などを巡るコースを予定していましたが、雨のため室内に変更して開催。

昭さん(岡)が町内の史跡を解説した後、ボウリング、輪投げ、こま回しなどを行って和やかに交流をしました。また、郷土芸能として今泉神楽を披露、昼食時にはキノコご飯や豚汁を食べながら、カラオケ大会なども行われ、町民と外国人たちは、互いの国の歴史や生活習慣などを話し合いながら、理解を深め国際色豊かな大会となりました。

新地保で祖父母と交流会

わらじをはいてかけっこ

新地保育所が十月十八日、園児と祖父母とのふれあいを深める交流会を開きました。祖父母二十五人が参加し園児が見つめる中、わらじや、牛乳パックでテーブルや椅子を作り直しました。



祖父母と手をつなぎ楽しそうにかけっこする園児

大きく育てとキジ放鳥

繁殖・生態系調査に活用



保護区にキジ放鳥

十月十八日に、佐藤一博県鳥獣保護員、目黒健男猟友会副会長、役場産業課職員らが、鳥獣保護区に元気に育ての願いを込め、二十七羽のキジを放鳥しました。

丸森町大内中学校から礼状

このたび、丸森町立大内中学校(校長萩野利邦)から広報係へ、沢口部落の皆さんへの礼状が届きましたのでご紹介いたします。



25キロのコースを歩いた大内中学生

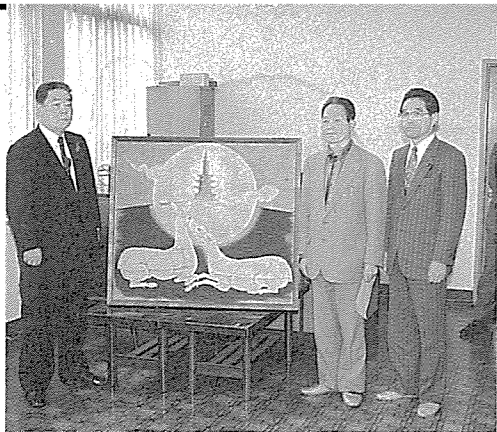
過日、新地町の皆さんにお世話になりましたものですが、御礼の気持ちを表したく一筆取った次第です。

本校では、「心身ともにたくましい生徒の育成」を目指し、昨年度から二十五キロを歩く行事を実施しています。コースは、学校(丸森大内中)から大沢峠を越え、県道を山ぞいに北上し、いっぱい清水の

星茂さん(高田出身)

院展出品作

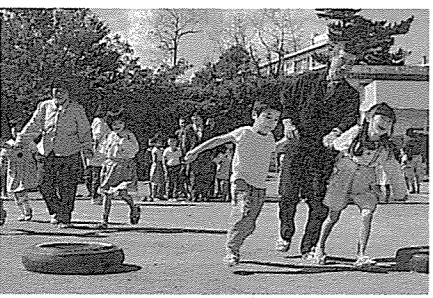
「神鹿」寄贈



寄贈された「神鹿」と星茂さん(右から二人目)

高田部落出身で埼玉県大宮市在住の画家・星茂さん(九十七歳)が、このたび役場を訪れ、自作「神鹿」(40号)を町に贈りました。

星さんは日本美術院院友で昭和五十二年に同院特待(無鑑査)になっており、これまでも町に六点的作品を寄贈をしています。今回寄附された「神鹿」は昭和五十四年の春の院展に出品されたもので、画面中央には身ごもった雌鹿とこれをいたわる雄鹿を描いています。



寄贈された「神鹿」と星茂さん(右から二人目)

福田峠を通って学校まで一周するものです。

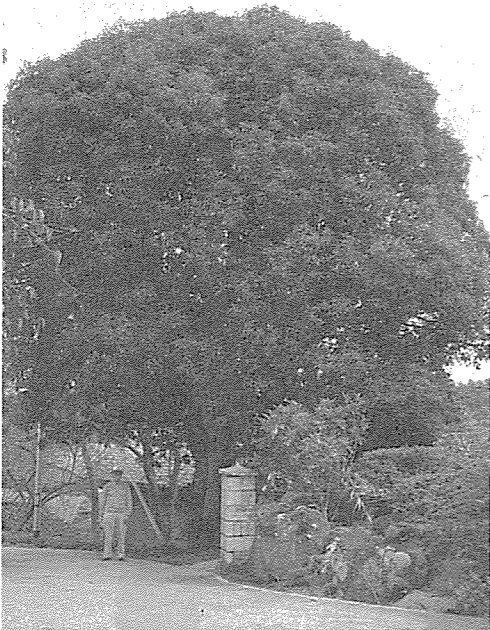
九月二十八日(土)、台風一過後の秋晴れのもと朝九時前に出発しました。途中休憩と通過チェックのため、沢口集会所の利用をお願いしてありましたが、当日は、玄関先に「歓迎歩け大会」の看板を掲げて温かく迎えていただき嬉しかったです。その上、お茶その他による接待をいただき生徒・職員とも感激をいたしました。

お陰様で、百四十七名の生徒と十名の職員全員が完歩することができ、午後四時半に無事終了しました。生徒ともども大変気持ちのいい秋の一日を送ることができました。中でも、沢口集会所の歓迎ぶりが大変印象的でした。あらためて、区長さん始め沢口部落の方々に心から感謝を申し上げ、御町のご発展をお祈りしながらお礼の挨拶いたします。

丸森町立大内中学校

校長 萩野 利邦





樹種 もくせい(きんもくせい)
 所在地 杉目字五郎四郎16
 所有者 早川権蔵氏
 樹齢 推定約320年(18代前に植えたものと言われている)
 樹幹 4本立ちとなっている
 根回り...276cm
 目通り...340cm
 樹高 約9m
 樹冠 9.5m
 花色 橙

毎年、九月末頃になると町内のあちらこちらに芳香が漂うようになります。この頃がもくせいの季節です。ここにもあったのかと普段あまり目立たない樹の存在を知らされることも多いと思います。この花が咲くのを待ってきのこ取りの目安にしている人も多いようです。今回は、数多い町内のもくせいの中で代表的な一本をご紹介します。

早川権蔵氏所有のもくせいは、約八十年前に火災に会い

もくせい(木犀)



空気の流れたところでは花の咲かない樹なので、私たちの町はいつまでももくせいの香る町にしておきたいものです。

木犀のひそとこぼれて
 医者屋敷 (滑城)

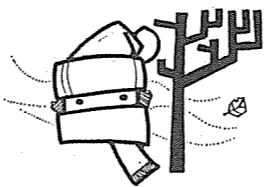
もくせいメロ

もくせい科でひいらぎ等と共にもくせい属に属する。原産地は中国で花色により「きんもくせい」と色のうすい「うすきもくせい」「白花の「ぎんもくせい」があり、ぎんもくせいは香りがうすい。



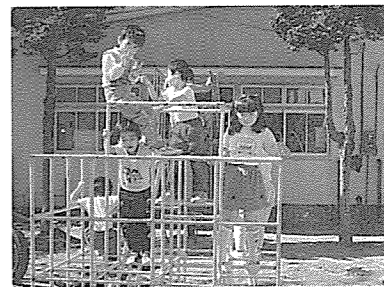
かぜは万病のもの

秋も深まり空気が乾燥し、かぜの流行する季節がやって来ました。かぜのかららないようにするには、偏食しない、十分睡眠をとる。からだを鍛える。厚着をしない。マスクを利用する。室内を換気する。必要以上に人ごみに出ないよう心がける。外から帰ったときは直ちにうがいと手洗いを励行する。さらに集団生活



される方はインフルエンザの予防接種を受けて、インフルエンザにかかりにくくし、たとえかかっても症状が軽くすむようにしましょう。

丈夫な体は
 バランスのとれた
 食事から



元気に遊ぶ子供たち

今回は食べ物について考えてみたいと思います。

食べ物からビタミンAやCをたっぷりとって、かぜに負けないからだを作りましょう。かぜのウイルスに対抗するには、まず皮膚や粘膜を健全に保たなければなりません。この働きをするのがビタミンAです。また、ビタミンCには体の中に入ってきたかぜのウイルスの活動を抑える働きがあります。

なお、食べ物に注意すると同時に日常体を動かすことも忘れてはならないことです。野菜ではビタミンA(カロチン)を多く含むでいるのが緑黄色野菜で代表は、ほうれん草です。小松菜・ブロッコリー等にも多く含まれています。一方淡色野菜の大根にはビタミンCが多く含まれています。おろしにしたときには

栄養管理は

あなたです

いろいろな食品からたんぱく質・脂肪・ビタミン・ミネラルなどの栄養素をバランスよくとることです。そのためには片寄らず、まんべんなくとることを心がけよう。栄養管理は自分自身です。かぜにかかわらず冬の寒さのうちかつ健康に過ごしましょう。

10月のもえないゴミ収集状況

もえないゴミは、地区ごとに毎月15日~17日(日曜日や祭りに関係なく)に収集しています。収集日の朝8時30分まで、指定の場所にルールを守って出しましょう。

収集場所	収集できないゴミ			収集場所	収集できないゴミ		
	完全収集	出しおくれ	記名なし		完全収集	出しおくれ	記名なし
15日収集地区	作田公会堂前 作田農協倉庫前 作田農協倉庫西側 釣師北畑水防倉庫前 大戸浜商店東側 今泉佐藤商店東側 駒ヶ嶺新住宅前 藤崎金公堂前 藤崎民部公堂前	1	3	16日収集地区	原公会堂前 富倉公会堂前 駒ヶ嶺河原栄一宅前 上町八巻克也宅北側 新町遠藤商店前	2	2
16日収集地区	中木島公堂前 中木島公堂前 中木島公堂前 中木島公堂前 中木島公堂前			17日収集地区	沢口公会堂前 鉄炮町の見前 明地火の見前 大山田バス停前 上真弓十字路北側 下真弓公会堂前 岡集荷所北側 菅谷公会堂前		1

(10月21日調べ)

11月26日(火)
 粗大ゴミ収集日

11月26日(火)は、一般家庭粗大ゴミの収集日です。午前8時30分まで部落・氏名を書いて最寄りの収集所にお出し下さい。(氏名等が書かれていないと収集されません。)

■お詫び訂正

広報しんち十月号(第二四四号)十一頁「町の樹々たち」の文中、「観覧の松」は「観瀾の松」の誤りでした。

同頁「ご寄付ありがとうございました」の文中、「永岡孝子さん」は「新竜会」の誤りでした。お詫びして訂正します。



みつえ 幕田美津江さん(上真弓)

♥S45.3.3生・血液型 A型・うお座
 職場では「まくちゃん」、友人からは「みつちゃん」の愛称で呼ばれることが多いという幕田さん。最近、家と農協の往復だけなので何か新しい事にチャレンジしたいと話していました。

ふれあいトーク

☆何人家族ですか。
 ○両親と祖母と私の4人家族です。

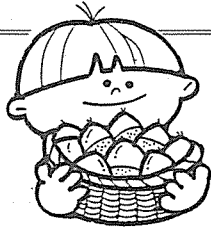
☆農協に勤めて何年ですか。
 ○4年目です。ガソリンスタンド、新地本所、駒ヶ嶺支所をまわって、一年半前から福田支所になりました。笑顔の対応に心がけています。

☆趣味はなんですか。
 ○友人との長電話かなあ。カラオケなんかも好きで、工藤静香の歌はよく唄います。後は週一回テニスに通っています。

☆理想の男性のタイプは？
 ○一緒にいて楽しくていざ(ありがたいございました)。

☆最後に夢を。
 ○私は長女(下に妹)なので、この町で暮らしたいと思っています。加瀬大周でなくともいいんですが(笑)、ステキな人に巡り会いたいですね。

消息



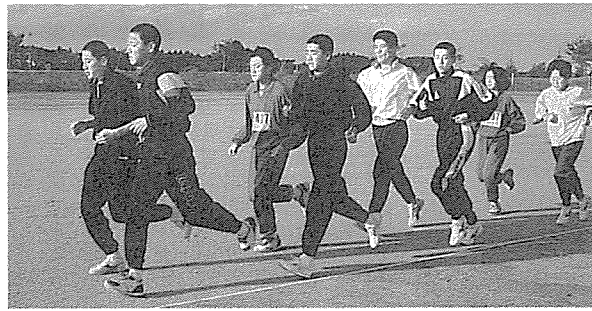
9/21~10/20 届出

出生(届出は14日以内に) おめでとうございます。

Table with columns for (子供), (親), (地区) and names of newborns and their parents.

死亡(届出は7日以内に) おくやみ申し上げます。

Table with columns for (死亡者), (年齢), (地区) and names of deceased individuals.



活躍を期待

ふくしま駅伝

市町村対抗第三回福島県縦断駅伝競走大会が十一月二十四日(日)、白河-福島間、十四区間、101キロのコースで開かれます。九十七市町村のうち八十五が出場。

荒司(コーチ)(トキワ自工)、高口泰(アルプス電気機)、遠藤和孝(アルプス電気機)、小野大作(デイビーエスエス)、竹沢浩(イテック機)、日下憲生(相馬高2年)、伊藤友英(相馬高2年)、加藤清幸(小高工業3年)、寺島一宏(相馬高1年)、大和田貫(相馬高1年)、佐藤武伸(相馬高2年)、佐藤英行(新地高1年)、八巻悦子(相馬女子高2年)、伊藤恵美子(相馬女子高2年)、菅野千春(相馬女子高2年)、後藤正博(尚英中3年)、佐藤正和(尚英中3年)、佐藤淳志(尚英中3年)、鈴木寿裕(尚英中2年)、櫻井麻梨子(尚英中3年)、目黒梢(尚英中2年)、佐々木一幸(尚英中2年)、吉田貴生(尚英中2年)、小野和伸(尚英中3年)

今月の納税等 町県民税 国民年金 水道料 第7、第15行政区 11月分 第3期

人口&世帯 10月1日現在 ()内は前月比 人口 8,962人 (+1) 男 4,367人 (-3) 女 4,595人 (+4) 世帯数 2,147世帯 (+3)

- 9月 22日 釣師部落、中里部落運動会、新竜会発表会
24日 決算審査会分科会
25日 決算審査会分科会
26日 決算審査会分科会
27日 議会一般質問
28日 県漁連副会長就任祝賀会
29日 小川部落運動会
30日 議会一般質問
10月 1日 議会本会議
3日 衛生組合定例会、知事入札
7日 県土地連理事會
8日 県市町村職員海外派遣壮行会(ヨーロッパ研修19日まで)

町長日記 荒和英

宅地分譲 予約申し込み開始

町では、美しく住みよい住宅地を分譲いたします。分譲を予定しているのは、新地町小川字原添地内十九区画で、購入を希望される方は、十二月二十五日まで役場企画振興課にお申し込み下さい。詳しくは、企画振興課(☎2111)へお問い合わせ下さい。

こちら編集室

「知らないからこそ書ける。」「十を知って一を書く。」は広報紙の基本ですが、「十」を知る事は、やっぱり難しいなあ。▼今月号は商業を特集しました。岐路に立つ商店の現状を感じていただければと思います。▼無事帰国した「町民の翼」の参加者の中に、多くの商工会員がいました。「零細な商工業者にとって十一日間仕事を離れる事は大変だが、一生の中の十一日間と思えばたいした事はない。先進国から影響を受けてこよう。」と話合っの参加でした。来月号は、「町民の翼」を特集します。(M.S)